

高田派専修寺関東別院 都内の「NPO」と提携

独居老人の心の支えに専用携帯電話



仏事・悩み：相談で交流

東京都大田区の真宗高田派専修寺関東別院(山中俊之輪書)はこのほど、独居高齢者を支援する都内のNPO法人と提携し、「愛こむほ」の携帯を手にする。本庄代表理事

東京大田区の真宗高田派専修寺関東別院(山中俊之輪書)はこのほど、独居高齢者を支援する都内のNPO法人と提携し、「愛こむほ」の携帯を手にする。本庄代表理事

一人と人をつなぐ会(本庄有田代通事)。住民の高齢化率が六割を越す同区の都立山田地区で、高齢者の孤独死をなくせと平成十九年に発足した。大分市の福祉通信サービス会社「(株)信サービス」(代表)と提携し、(株)山田地区が開発した専用電話で、高齢者や障害者を見守るシステム「愛こむほ」を地域に導入する活動を推進。主に都内在住の高齢者が孤立しない環境づくりに努めている。

同システムは利用者が固定や携帯電話を所有し、緊急事態や相談事がある時などにボタン一つで二十四時間専断のコールセンターにつながる。利用者は首都圏の約二百人を始め、全国に約三千四百人いるという。

コールセンターは仏事や信仰、悩み事に関する相談などを受けた場合、内容によって専修寺関東別院と相談者との間を取り持つことになっている。別院側は常時、十人ほどの職員が対応するとしている。

山中輪書は「お年寄りの孤独死の防止に、配線を一つ一つ取り除いていきたい。愛こむほを手につけて交流を促すことも考えている」と話す。

本庄代表理事は「高齢者の話し相手としてお坊さんは適任。お寺ならではの後のことも考えてくれる」と、「ほかの寺院にも協力してほしい」と呼び掛けている。同会は電話(03)5330(三三)三九五。

同システムは利用者が固定や携帯電話を所有し、緊急事態や相談事がある時などにボタン一つで二十四時間専断のコールセンターにつながる。利用者は首都圏の約二百人を始め、全国に約三千四百人いるという。

コールセンターは仏事や信仰、悩み事に関する相談などを受けた場合、内容によって専修寺関東別院と相談者との間を取り持つことになっている。別院側は常時、十人ほどの職員が対応するとしている。

山中輪書は「お年寄りの孤独死の防止に、配線を一つ一つ取り除いていきたい。愛こむほを手につけて交流を促すことも考えている」と話す。

本庄代表理事は「高齢者の話し相手としてお坊さんは適任。お寺ならではの後のことも考えてくれる」と、「ほかの寺院にも協力してほしい」と呼び掛けている。同会は電話(03)5330(三三)三九五。